



令和4年度

新潟県農業再生協議会  
(令和5年2月10日開催)

議事録



## 令和4年度新潟県農業再生協議会 議事録

日時：令和5年2月10日  
10時00分～10時37分  
場所：JA新潟ビル 9階 中会議室

### 開会

- 定刻となったので、ただいまから令和4年度新潟県農業再生協議会を開会する。
- はじめに、石山会長より開会の御挨拶を申し上げる。

### 開会あいさつ（石山会長）

- 本日は御多用のところ、お集まりいただき感謝申し上げます。
- 昨年12月の県再生協議会において、本県の主食用米の生産目標を、令和4年産と同等と設定させていただいたところ。これまで進めてきた非主食用米等の転換作物を定着させるとともに、輸入に依存する麦や大豆などの生産拡大を進めるなど、引き続き需要に応じた米づくりを進めることが重要であると考えている。
- 本日の協議会では、非主食用米等の取組の誘導策となる「産地交付金の活用方針」等について御協議いただくこととしている。
- 限られた時間ではあるが、皆様からの忌憚のない御意見をいただくようお願いし、開会の挨拶とする。

### 事務局

- 本協議会については原則公開としており、議事録についても新潟米情報センターのホームページに公開することとなっているので、御承知おきいただきたい。
- 本日の出席状況については、出席者名簿にて御確認いただきたい。
- ここからの進行について、石山会長にお願いしたいがよろしいか。

会員：異議なし

### 事務局

- それでは石山会長、よろしく願います。

石山会長

- それでは次第に沿い、議事の進行を務めさせていただきます。
- なお、本日の議事録については事務局で作成することとし、議事録署名人の選出については、慣例により私に一任いただきたいが、いかがか。

会員：異議なし

石山会長

- 異議なしと認め、議事録署名人を全国農業協同組合連合会新潟県本部の安藤県本部長、新潟県土地改良事業団体連合会の坪谷専務理事のお二方をお願いする。
- それでは情勢報告として「農林水産省の令和5年産に向けた水田農業の取組方針」について、北陸農政局新潟県拠点から説明いただく。

北陸農政局新潟県拠点 福井地方参事官

～ 令和5年産に向けた水田農業の取組方針（資料1） ～

石山会長

- それでは、ただいまの説明について、御質問を受け付けるが、いかがか。
- ないようなので、協議事項に移らせていただく。「令和5年度の産地交付金の活用方針」について、県から説明いただく。

県農産園芸課 神部課長

～ 令和5年度産地交付金の活用方針（案）（資料2） ～

石山会長

- それでは、ただいまの説明について、御意見・御質問等を受け付けるが、いかがか。
- ないようなので、事務局案のとおりとさせていただきますが、よろしいか。

会員：異議なし

石山会長

- それでは、「令和5年産の需要に応じた生産に向けた対応について」、JA新潟中央会から説明いただく。

JA新潟中央会農業地域対策部 小見部長

～ 令和5年産米の需要に応じた生産に向けた対応について（案）（資料3） ～

石山会長

- ただいまの説明について、御意見・御質問を受け付けるが、いかがか。

石山会長

- ないようなので、事務局案とさせていただき、令和5年産米の需要に応じた生産に向けて協議会として取り組んでまいりたい。

石山会長

- 以上で本日用意した議題はすべて終了する。
- それでは、事務局に進行をお返りする。

事務局

- 閉会にあたり、JA新潟中央会高橋専務から閉会の御挨拶を申し上げます。

閉会あいさつ（JA新潟中央会 高橋専務）

- 本日は御協議いただき感謝申し上げます。
- 本日の協議会では農林水産省の取組方針について説明いただいた上で、産地交付金の本県における活用方針、需要に応じた生産に向けた対応方針について、協議、確認をいただいたところ。
- 本日の協議、確認を受けて、今後各団体、行政、生産者が一丸となって、方針に基づく需要に応じた生産を着実に進めていくことになるので、協力をいただくようお願いし、閉会の挨拶とする。

事務局

- 以上をもって、本日の協議会を閉じさせていただく。

議事録署名人

安藤 稔 

議事録署名人

坪谷 満久 